

第2回堤防調査委員会（常呂川、空知川、十勝川）

議事要旨

1 日時；平成28年12月19日（月）10：00～11：30

2 場所；札幌開発建設部 分庁舎ABC会議室

3 堤防調査委員会委員

清水康行（北海道大学大学院工学研究院教授）（空知川委員長）（座長）

渡邊康玄（北見工業大学社会環境工学科教授）（常呂川委員長、十勝川委員）

泉 典洋（北海道大学大学院工学研究院教授）（十勝川委員長）

佐々木 康（広島大学名誉教授）（空知川委員）

川口 貴之（北見工業大学社会環境工学科准教授）（常呂川委員、十勝川委員）

西村 聡（北海道大学大学院工学研究院准教授）（空知川委員）

林 憲裕（寒地土木研究所寒地地盤チーム上席研究員）（常呂川、空知川、十勝川委員）

矢部 浩規（寒地土木研究所寒地河川チーム上席研究員）（常呂川、空知川、十勝川委員）

※渡邊委員長、佐々木委員は所用のため欠席

4 議事概要

<常呂川>

- ・柴山沢川の堤防決壊は、浸透が主要因ではなく、常呂川の背水に伴う水位上昇により、越水したことが原因であることが確認できた。
- ・決壊箇所と決壊に至らなかった箇所は、植生状況と越水時の内水状況の違いが大きかったと考えられるが、決壊により河川水位が下がり、他の箇所が持ち堪えた可能性もある。
- ・堤防等の復旧を行うほか、再度災害防止を目的とした河道掘削を行うことでよい。

<空知川>

- ・空知川における浸透は、堤防決壊の主要因でないことが確認できた。報告書作成時には、浸透流解析に用いた土質定数の設定方法について記載すること。
- ・堤防等の復旧を行うほか、再度災害防止にあたっては、侵食防止のための高水敷の保護等も検討すること。

<十勝川>

- ・札内川 KP25.0 の堤防の決壊原因は、戸蔦別樋門の漏水や内水の浸透とは考えにくい。報告書作成時には、浸透流解析に用いた土質定数の設定方法について記載すること。

<三河川共通>

- ・委員会報告書の作成に向け、今後は各河川が個別に委員会を開催する。